

令和 7 年度姫路市デジタル人材育成計画 〔ver.1.1〕

**令和 7 年 9 月
姫路市デジタル戦略室**

目次

1. 庁内デジタル人材育成の目的と位置づけ（ロジックモデル）
2. 令和12年度までのデジタル人材育成ロードマップ
3. 土台作りフェーズ（R6～R8）におけるロードマップ
4. 令和7年度 重点取組事項
5. 令和7年度 取組に関するKPI
6. 令和7年度 デジタル人材育成研修 体系図
7. 令和7年度 デジタル人材育成研修 実施スケジュール

1. 庁内デジタル人材育成の目的と位置づけ（ロジックモデル）

目指すべき姿

姫路ライフ・デジタル戦略における令和12年度（2030年度）の姫路市の姿

最終成果
（目的）

各局・各所属が自発的かつ継続的に、デジタルを活用した地域・組織の課題解決に取り組んでいる
（デジタル戦略で示す「職員の意識・行動の変容とデジタル技術を触媒とした『行政から地域への課題解決の連鎖』」）

中間成果Ⅱ

各局・各所属において、当事者としてデジタル化・DXに「当たり前に取り組む」状況が生まれている

中間成果Ⅰ

職員個々の意識変容とスキルアップが図られている
獲得したインプットを業務で実践（アウトプット）している

職員個々や各職場において、成功体験が生まれている

本計画のKPI管理対象

直接成果

- ①職員が研修に参加する
- ②職員がデジタル関連資格を取得する

- ①職員がTF等を通じ、デジタルを活用した課題解決に取り組む
- ②職員がDX相談窓口等を通じ、職場の業務改革に取り組む

本計画の対象取組

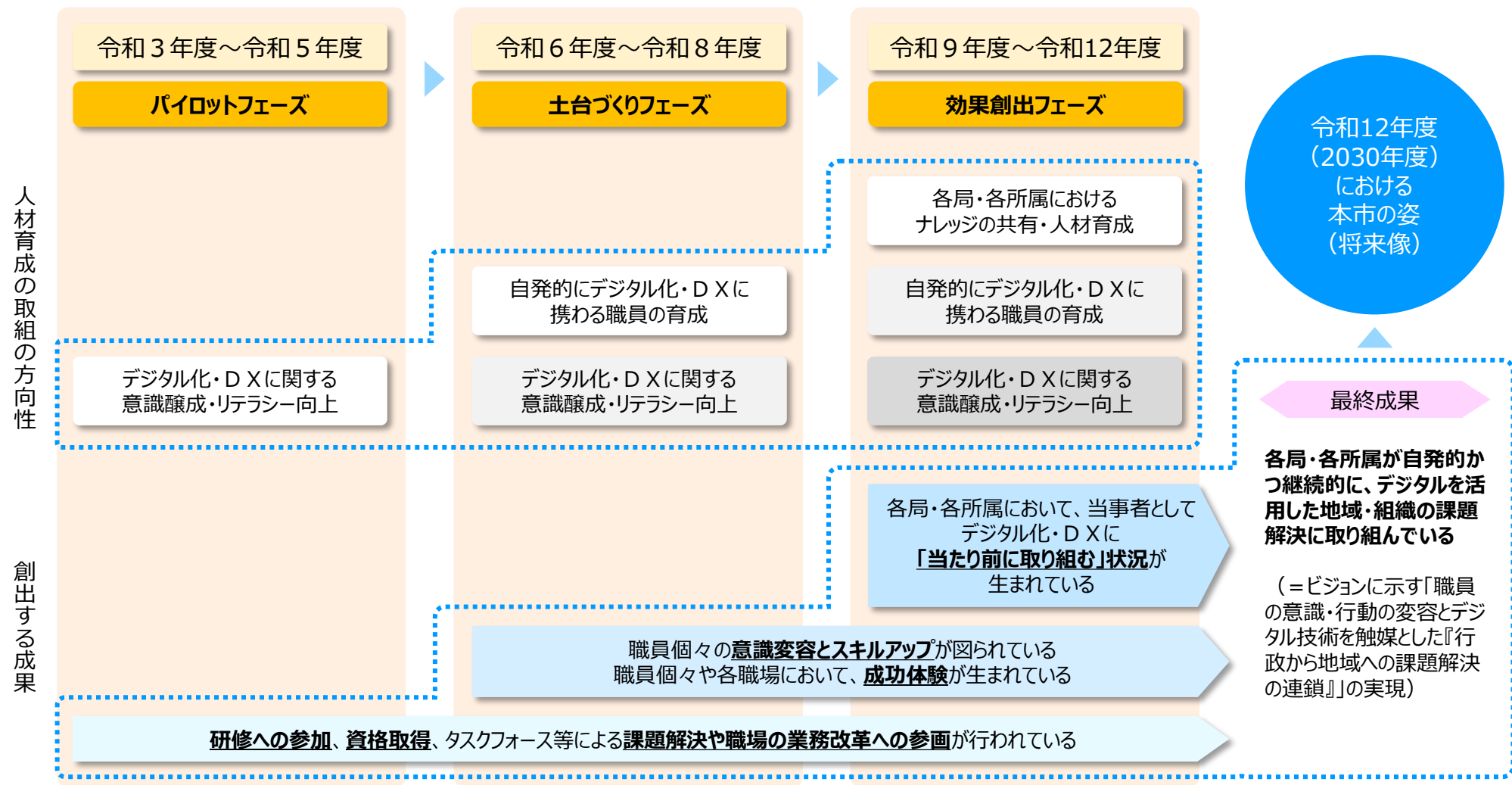
産出
（人材育成の取組）

- ①職員研修の実施
- ②デジタル関連資格（ITパスポート等）の取得支援

- ①タスクフォースや業務改革支援チーム等への参画機会提供
- ②DX相談窓口等を通じた課題解決支援

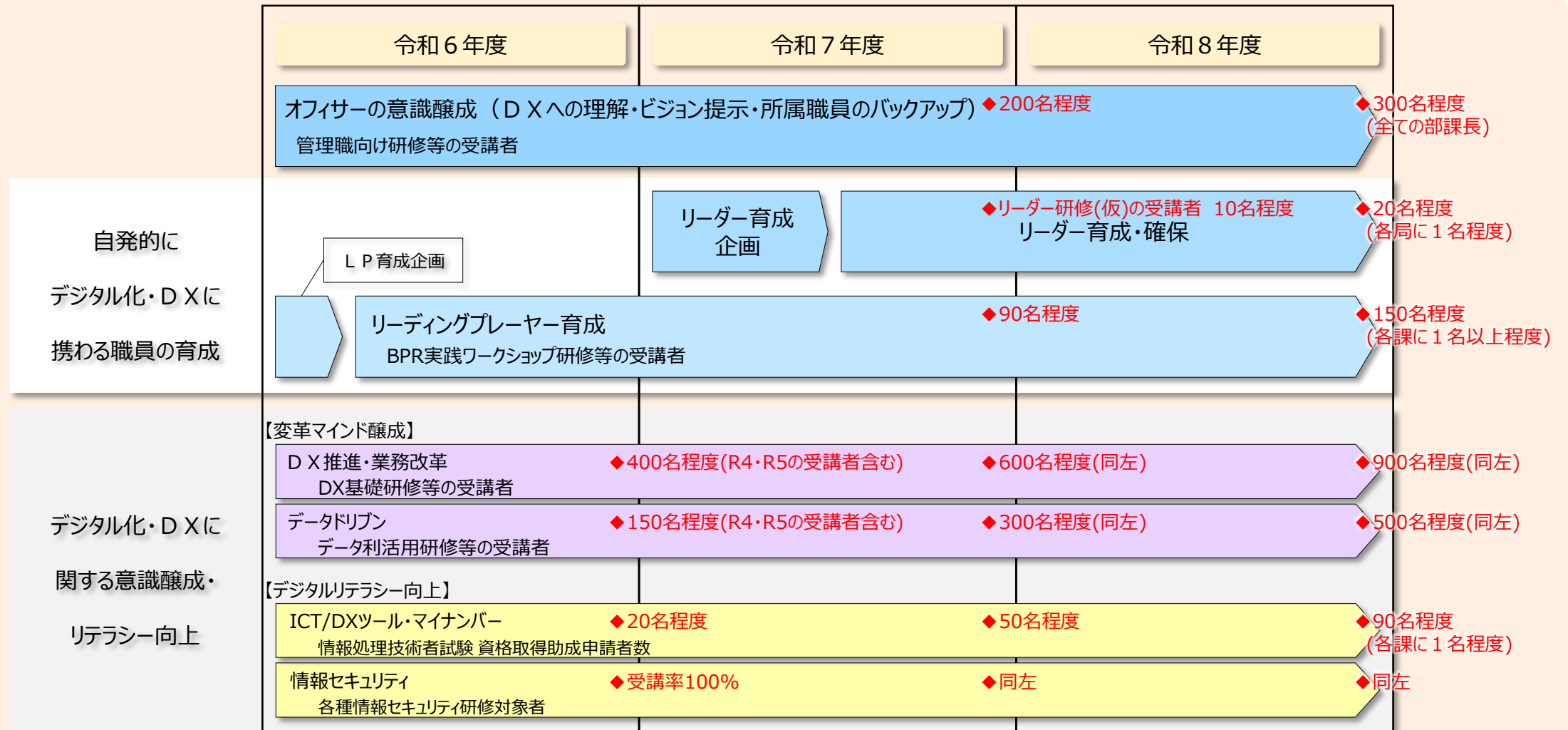
2. 令和12年度までのデジタル人材育成ロードマップ

令和12年度（2030年度）における本市の姿（将来像）を実現するため、以下のロードマップに従って市内デジタル人材の育成の取組を進めるものとする。



3. 土台作りフェーズ（R6～R8）におけるロードマップ

土台づくりフェーズにおいては、デジタル化・DXに関する全庁的な意識醸成及びリテラシー向上に引き続き取り組むとともに、自発的にデジタル化・DXに取り組む職員を育成することで、職員個々の意識変容・スキルアップ及び業務でのデジタル化・DXの実践を図る。



※ 研修の位置付けを整理し、一部の目標値を上方修正した。

4. 令和7年度 重点取組事項（1/2）

1. リーディングプレーヤー層の育成強化（自発的にデジタル化・DXに携わる職員の育成）

- ✓ 全庁的なデジタル化・DXを推進するに当たっては、業務の主体である各課において、現状把握や原因分析、あるべき姿の実現に必要な課題解決策の立案を担い、デジタルを活用した課題解決・業務改革の牽引役となる「リーディングプレーヤー」層の量的・質的な育成が必要である。
- ✓ 過去に実施した研修のアンケートでは、DXについて「『時間があれば』主体的に実践したい」と答えた職員の割合が約50%～60%に及ぶことがあり、さらなる意識醸成と、DXを実践する時間の確保が課題となっている。
- ✓ リーディングプレーヤー層の育成のため、引き続き「BPR実践ワークショップ研修」を実施し、自部署の業務の問題・課題を発見する力、解決策を明確にして道筋を立てられる職員を育成する。
- ✓ リーディングプレーヤー層職員のリテラシー及び意識向上のため、新たに動画研修サービス「Udemy Business」の視聴アカウントを職員に配布し、デジタル化・DXに関する最新の知識やスキルを自ら進んで学ぶ能力を培う。

2. プレーヤー層の変革マインド・デジタルリテラシーの底上げ（デジタル化・DXに関する意識醸成・リテラシー向上）

- ✓ 全職員が「デジタル人材」の一員であることの理解を深めるとともに、リーディングプレーヤー層の職員が立案・牽引する課題解決の取組に対し、単なる「業務の増加」等と捉えて敬遠することのないよう、当事者として前向きに支援・参画する意識を醸成することが必要である。
- ✓ 令和7年度末における行政手続のオンライン化100%達成に向け、DXツールの使い方など、デジタルリテラシーを高める方策を進める必要がある。
- ✓ 上記を踏まえ、「DX基礎研修」や「＜仮称＞EBPM・データ利活用基礎研修」などの基礎的な研修を充実させるとともに、「姫路市オンライン手続ポータルサイト研修」等のツール活用方法に関する研修を実施する。
- ✓ DX及びデータ利活用に係る基礎知識習得のため、従来から実施している「DX基礎研修」と同内容の研修を「2級職員研修」においても実施し、若手職員の意識の向上を図る。

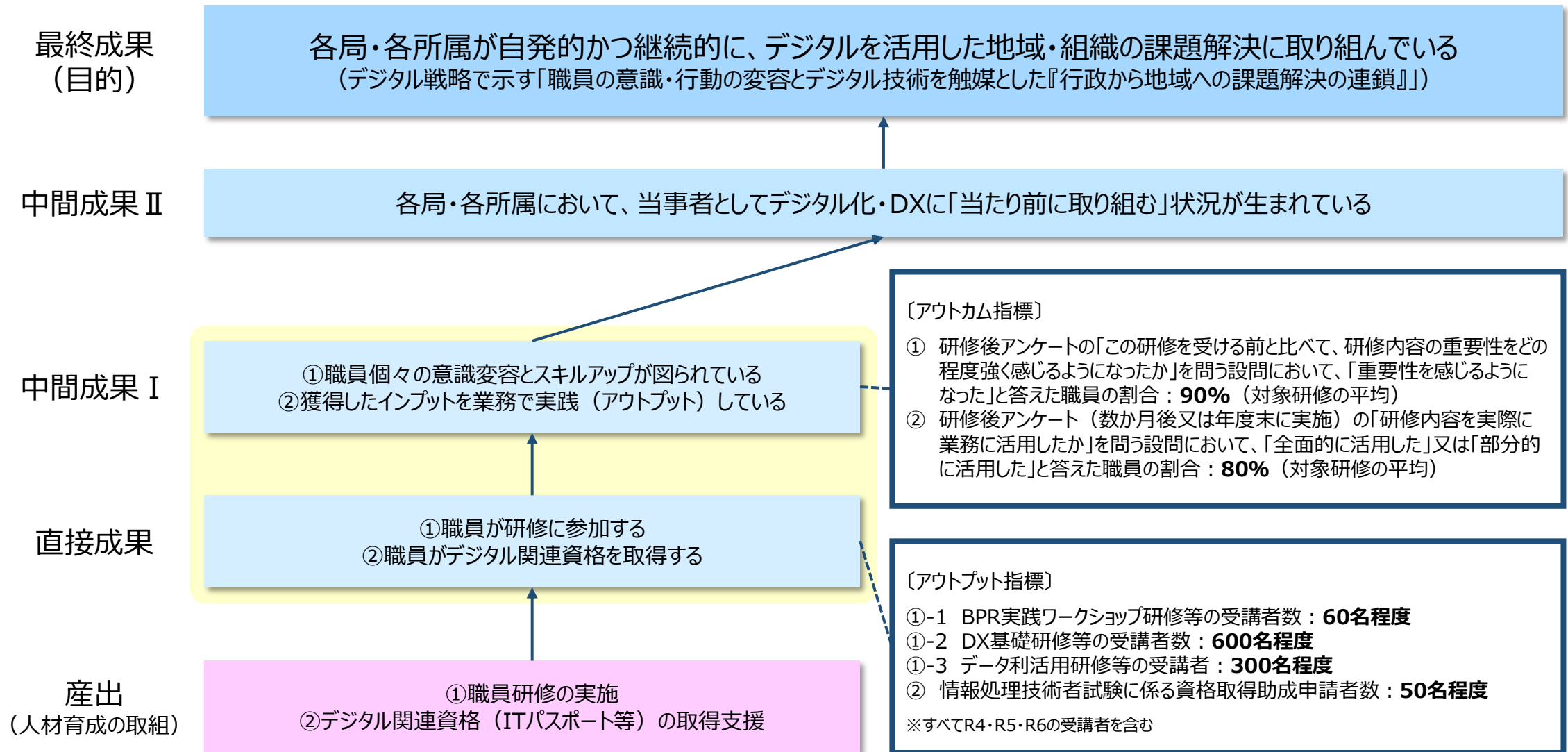
4. 令和7年度 重点取組事項 (2/2)

参考 姫路市のデジタル人材の階層（出典：姫路ライフ・デジタル戦略〔Ver.3.2〕）

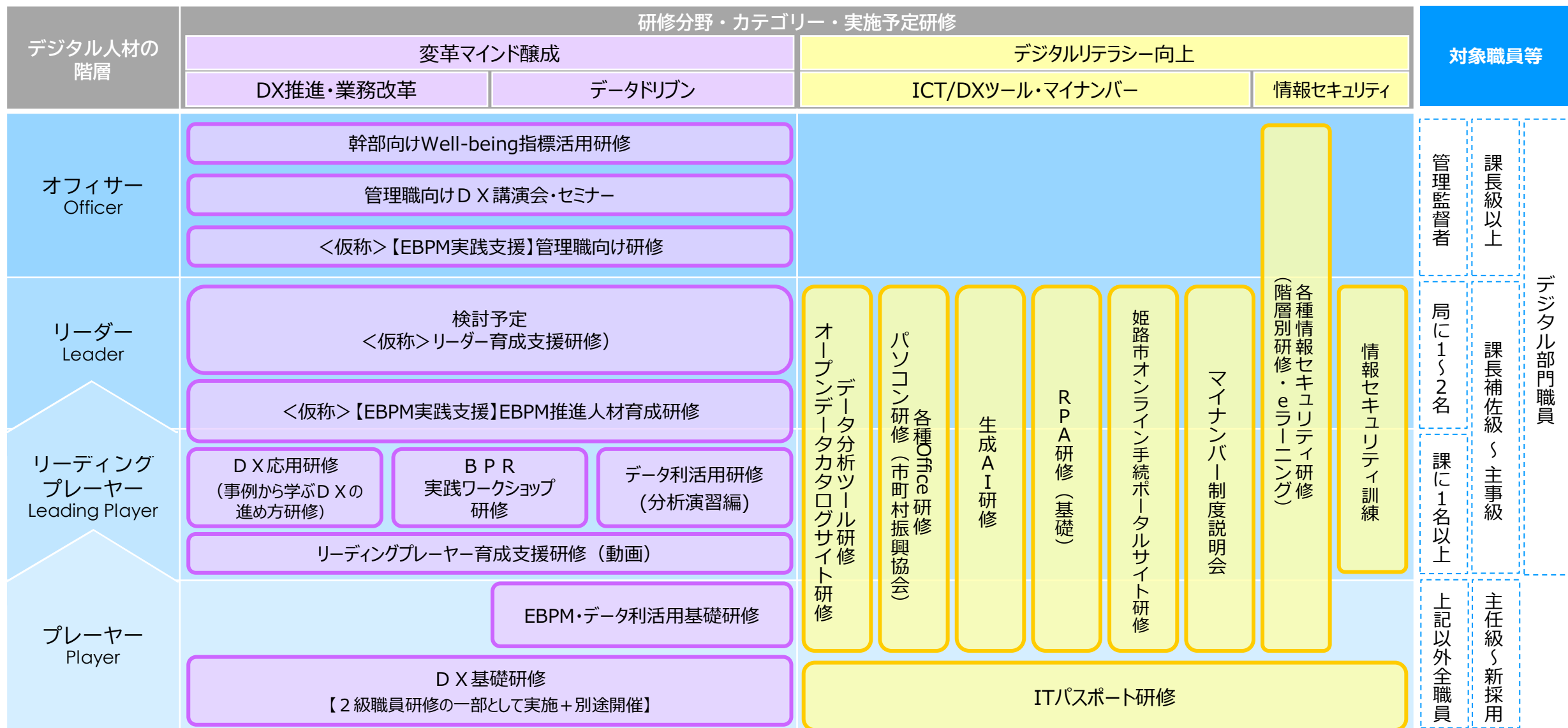
デジタル人材の階層	求められるスキル	
リーディングプレイヤー Leading Player	変革マインド	1. リーダーの策定したDX企画及びその実施計画に基づき、自部門において着実に変革を実行できる。 2. 自部門の業務プロセスにおける問題点を把握し、抜本的な解決策を提案できる。 3. 自部門のDXを推進するために必要なデータを理解し、そのデータの収集、整理、分析を行うことができる。 4. 定量的なKGI・KPIを設定し、それを用いて自部門の事業の成果を検証することができる。
	デジタルリテラシー	1. ICT/DXツールを効果的に活用するための知識を積極的に習得し、自部門業務へ適用することができる。 2. 情報セキュリティポリシーを理解し、遵守するとともに、他メンバーへ助言や支援を行うことができる。 3. 自部門で発生したセキュリティインシデントについて、情報セキュリティポリシーに基づき、適切に初動対応や応急措置の判断ができる。
	業務知識	1. 担当業務について、自部門の具体的な使命や目標に基づき、詳細な手順とプロセスを熟知し、推進できる。 2. 自部門の目標達成に向けて、部門内の協働を牽引することができる。
プレイヤー Player	変革マインド	1. リーディングプレイヤーからの助言やフィードバックに基づき、自部門の業務改善に取り組むことができる。 2. 担当業務の効率性向上に向けて、PDCAを意識し、自発的な努力と改善提案ができる。 3. データの重要性を理解し、業務に関連するデータを正しく読み取ることができる。
	デジタルリテラシー	1. ICTツールや業務システムの基本的な操作を習得し、業務へ有効に活用することができる。 2. マイナンバー制度について、その趣旨や行政事務との関連性を正しく理解している。 3. 情報セキュリティの基本的な考え方を身に付け、日頃の自身の行動をコントロールすることができる。 4. 自部門で発生したセキュリティインシデントについて、情報セキュリティポリシーに基づき、適切に報告・連絡・相談ができる。
	業務知識	1. 担当業務について、常にその目的を意識し、詳細な知識をもって正確に遂行できる。 2. 業務目的の達成に向けて、担当者間で相互にフォローすることができる。

※ オフィサーとリーダーに求められるスキルは「姫路ライフ・デジタル戦略〔Ver.3.2〕P.14参照

5. 令和7年度 取組に関するKPI



6. 令和7年度 デジタル人材育成研修 体系図



7. 令和7年度 デジタル人材育成研修 実施スケジュール

令和7年度に実施予定の研修の実施スケジュールは、以下のとおり。（ただし、時期が変更になる場合があります。）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マイルストーン	議会 戦略会議 人事評価			▲第2回定例会 ▲第1回デジタル戦略会議		▲第2回デジタル戦略会議 ▲前期評価	▲第3回定例会		▲第3回デジタル戦略会議		▲第4回定例会		▲第1回定例会 第4回▲デジタル戦略会議 ▲後期評価
変革マインド醸成	DX推進・業務改革	★管理職向けオンライン化講話											
	データドリブン	BPR実践ワークショップ研修 ★リーディングプレーヤー育成支援研修（Udemy動画） ★2級研修 ★DX基礎研修 ★DX応用研修 ★＜仮称＞【EBPM実践支援】管理職向け研修 ★＜仮称＞EBPM・データ利活用基礎研修 ★＜仮称＞【EBPM実践支援】EBPM推進人材向け研修 ★データ利活用研修（分析演習編） ★＜仮称＞【EBPM実践支援】ウェルビーイングに基づく政策デザイン研修											
デジタルリテラシー向上	ICT/DXツール・マイナンバー	★パソコン研修（市町村振興協会） ★マイナンバー制度説明会 ★姫路市オンライン手続きポータルサイト研修【前倒し】 各種Office研修 ★RPA研修（基礎） ★生成AI研修（時期未定） ITパスポート研修											
	情報セキュリティ	各種情報セキュリティ研修 情報セキュリティ訓練											